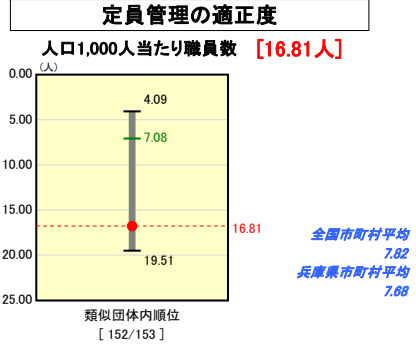
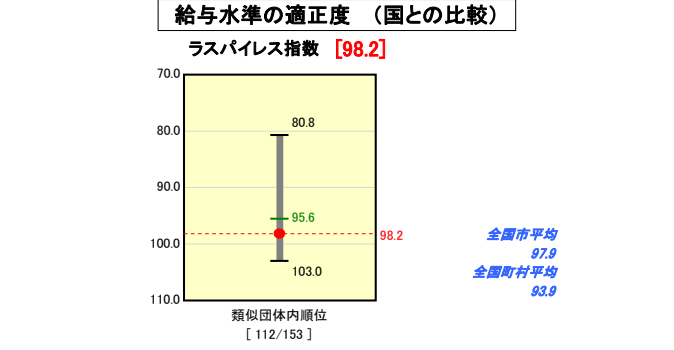
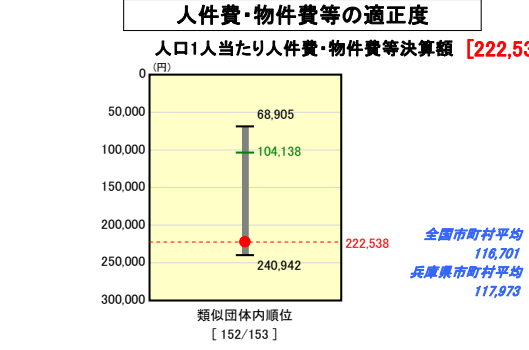
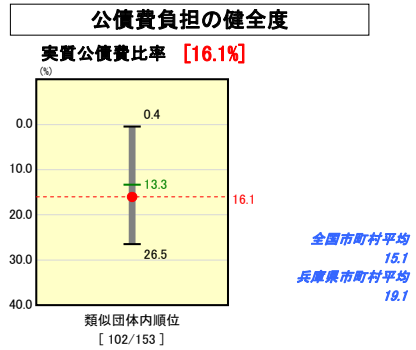
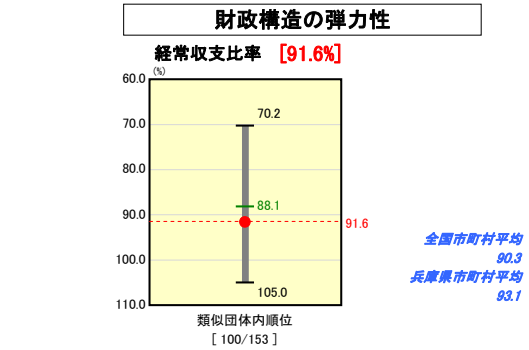
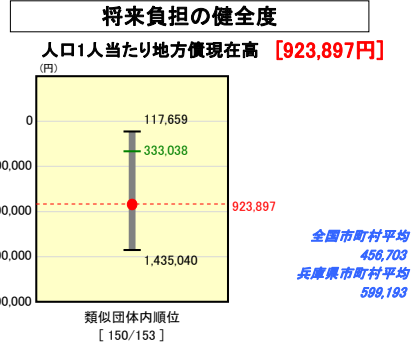
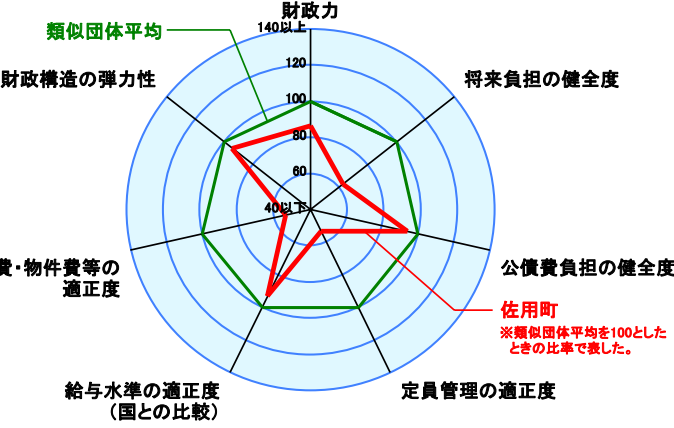
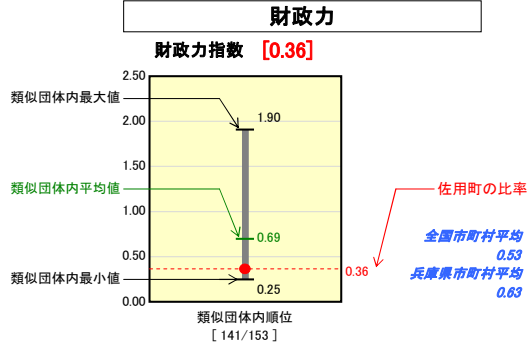


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

兵庫県 佐用町

人口	21,180	人(H19.3.31現在)
面積	307.51	km ²
歳入総額	15,090,631	千円
歳出総額	14,970,372	千円
実質収支	65,028	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(18年度末30.8%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。職員数の純減による人件費の抑制、町税等徴収体制の強化など、行財政改革実施計画(集中改革プラン)に基づいて歳出の削減と財源の確保に努め、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率**
 退職者の不補充、諸手当の見直しなどで人件費総額を337,811千円削減するなど、前年度(97.9%)に比べ経常収支比率をある程度改善できたが、当該年度は合併後2年目であり急激な経費削減は難しく90%を切ることはできなかった。定員適正化計画では職員数の削減目標を平成22年度までに34人としており、目標達成による人件費の削減と物件費など関連経費の抑制に努め、経常収支比率の一層の改善を図る。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
 類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に人件費が要因となっている。これは、消防、ごみ・し尿処理、農業共済などの業務を町単独で行っているためであると考えられる。集中改革プランに基づく定員適正化計画により職員数の純減を図っており、職員の各種手当の見直しなども合わせて実施しながら、一層の人件費削減に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高**
 合併前の旧4町の地方債を引き継いで間がないため、類似団体平均を大きく上回っている。合併後は、新規地方債発行額の上限を前年度償還額の90%以内に設定するなど、地方債の発行を抑制しており、地方債残高の減少に努める。
- 実質公債費比率**
 類似団体よりも悪くなっているが、平成16年度において1億2,430万円を借り換えせずに一括償還したことによるものである。今後は類似団体よりも若干悪いものの、15%前後で推移するものと見込んでいる。
- 人口1,000人当たり職員数**
 平成17年10月1日に町合併し、4町及び2一部事務組合の職員全員を新町が引き継いだため、類似団体平均と比較すると突出して多い。定員適正化計画に基づいて職員数を平成22年度に38人、平成27年度には80人削減(いずれも合併時との比較)し、より適切な定員管理に努める。
- ラスパイレズ指数**
 類似団体平均よりも悪い状況であるが、平成18年度に給与構造改革(8級制から6級制等)を行っており、今後ともより一層の給与の適正化に努める。